

コンタクトレンズトラブル

症状

- ・目の痛み、かゆみ、異物感、充血、視力低下などがあります。
- ・細菌性角膜炎、角膜真菌症、アカントアメーバ角膜炎などの角膜感染症のほか、コンタクトレンズアレルギーを認めることもあります。

原因

- ・コンタクトレンズの使用法に問題のあるケースが多く見受けられます。
- ・装用時間が守られていない、コンタクトレンズをはめたまま寝てしまった、着脱時の手洗い未施行、消毒時のこすり洗いが徹底されていない、コンタクトレンズケースの汚染、ソフトレンズを水道水で洗って目に装着などが考えられます。
- ・また、ドライアイがある人では、涙液中に含まれる酸素や栄養分が目の表面にいきわたらず、コンタクトレンズ装用により症状が悪化したり、コンタクトレンズの材質そのものにアレルギー反応を起こす場合もあります。
- ・最近では、若年層を中心に、カラーコンタクトレンズによるトラブルが増えています。

治療

- ・自覚症状がない場合もあるので、眼科医による定期検査は重要です。
- ・異常を感じたら、すぐにレンズの使用を中止し、眼科受診をして下さい。
- ・目薬で治癒することがほとんどですが、一部の角膜感染症では後遺症を残すこともあるので注意が必要です。
- ・ドライアイやアレルギー性結膜炎のある方は、眼科医に相談して、自分に合ったレンズの選択や日頃から目薬をつけるなどの対応が大切です。

巨大乳頭結膜炎



レンズの汚れやアレルギー性変化の影響で、上まぶたの裏側に大きなブツブツが認められる

角膜潰瘍



角膜に感染をおこし、著しい混濁を来した状態